

2023 年度 第 4 回 一般社団法人 日本地球化学会理事会 議事録

日時 2023 年 11 月 13 日 (月) 15:00-18:30

場所 zoom による web 開催

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/83008679342?pwd=rzMDMtWB2u78b8L93DYo6KwEMt8NTW.1>

出席者 高橋 嘉夫, 南 雅代, 横山 哲也, 飯塚 理子, 板井 啓明, 上野 雄一郎, 太田 充恒, 小川 奈々子, 黒田 潤一郎, 癸生川 陽子, 小木曾 哲, 角皆 潤, 平田 岳史, 古川 善博, 堀 真子, 丸岡 照幸, 山口 瑛子, 山本 順司, 若木 重行, 川幡 穂高 (監事), 吉田 尚弘 (監事)

欠席者 小畑 元, 白井 厚太郎, 瀬戸 繭美, 橘 省吾

オブザーバ 鈴木 勝彦, 豊田 栄

1. 審議事項

1.1. ダイバーシティ推進 Working Group について

高橋会長よりダイバーシティ推進 Working Group を発足することが資料に沿って提案され, 承認された. また, 男女参画学協会連絡会は 12 月末で退会することが提案され, 承認された.

1.2. 会誌の編集委員について

高橋会長より, 英文誌 Geochemical Journal の編集委員長を鈴木 勝彦会員に, 和文誌地球化学の編集委員長を田中 万也会員に委嘱することが提案され, 承認された. 両雑誌の副編集委員長については両編集委員長の推薦内容が提案され, 承認された.

1.3. 2024 年度年会について

若木企画幹事より, 2024 年の金沢年会における基盤セッション及び参加費について資料に沿って説明があり, 審議が行われた. 基盤セッションについては 2023 年の年会での内容に大きな変更は加えず, いくつかのセッションを追加することとなった. 参加費については, 次回の理事会で再度審議することとなった. また, 年会の概要及び年会サイトについて資料に沿って提案があり, 承認された.

1.4. 国際セッション(日中)について

上野国際幹事より, 中台韓との MOU に基づいた 2024 年年会における日中国際セッションの開催について資料に沿って提案があり, 承認された. また, Goldschmidt 2028 国際会議招致に向けて意見交換等を行っていくことが確認された.

1.5. 2025 年度年会について

若木企画幹事及び古川理事より、2025 年の東北年会の概要について資料に沿って提案があり、承認された。

1.6. 春の研究会について

高橋会長より、春の研究会について資料に沿って提案があり、承認された。春の研究会は、将来的に若手を中心とした研究会として引き継ぐことを確認した。

1.7. 2024 日本地球惑星科学連合(JpGU)「地球化学の最前線」について

高橋会長より、JpGU での地球化学に関連したセッションについて資料に沿って説明があり、承認された。

1.8. 人事公募ページならびに助成金公募ページの削除について

山本広報幹事より、学会ウェブサイトにおける人事公募ページ及び助成金公募ページの削除について資料に沿って提案があり、承認された。その際、ページ削除に係る費用について確認し、理事に共有することを確認した。

1.9. 講師派遣事業の廃止または手続変更について

山本広報幹事より、講師派遣事業を廃止することが資料に沿って提案され、承認された。

1.10. 学会ウェブサイトについて

南副会長より、学会ウェブサイトの問題点が資料に沿って説明され、学会ウェブサイトの刷新を検討することが確認された。

1.11. 化学連合との連携について

高橋会長より、化学連合の正会員から連絡会メンバーに変更することが提案され、承認された。

1.12. 賛助会員/協賛企業の整理について

太田会員幹事より、賛助会員および協賛企業の現状が資料に沿って説明された。今後は協賛企業を特別賛助会員とし、サービス内容も整理することが提案され、承認された。特別賛助会員については会員及び会費規程を改訂することが確認された。

1.13. 日本地球化学学会賞等受賞者選考細則の制定について

山口庶務幹事より、規程の整理及び Geochemical Journal 学生賞に関する問題が資料に沿って説明され、審議が行われた。次回の理事会で引き続き審議が行われることにな

った。

1.14. GJ 制作業務（J-STAGE 搭載含む）に関する中西印刷との 2024 年契約について

山口庶務幹事より，2024 年 1 月からの Geochemical Journal 出版業務に係る契約書（案）が提示された．2023 年 9 月に施行された「調達に関する規程」に則り，随意契約の理由書を作成し，理事で確認することとなった．

2. 報告事項

2.1. 会長

高橋会長より，鈴木弁護士との契約について年間契約は行わないことが説明された．

2.2. 副会長，名誉会員推薦委員会

南副会長より，名誉会員選出規程を改訂する意向が説明され，次回の理事会で議論することとなった．

2.3. 副会長，将来計画委員会

横山副会長より，将来計画委員会が「若手支援」と「会員動向」を中心に議論を進めていくことが説明された．

2.4. 地球化学編集委員長

山口庶務幹事より，編集委員会の開催，企画中的特集，編集状況，発行状況，執筆依頼について資料に沿って報告された．

2.5. GJ 編集委員長

鈴木 Geochemical Journal 編集委員長より，編集状況，発行状況，APC 値上げ，表彰，今後の取り組みについて資料に沿って報告された．

2.6. 出版幹事

丸岡出版幹事より，査読者表彰や編集者表彰について規程を策定していくことが報告された．

2.7. 企画幹事

若木企画幹事より，年会アンケート及びショートコースアンケートの報告があった．

2.8. 広報幹事

山本広報幹事より、ウェブサイト更新、ニュース記事・講師派遣、JpGU および Goldschmidt 会議に関する情報収集、今期の課題について報告があった。

2.9. 会員幹事

太田会員幹事より、2023 年 8 月から 9 月の会勢について資料に沿って報告があった。

2.10. 会計幹事

豊田会計幹事より、金額の大きな出納案件、GJ 制作業務に関する中西印刷との契約、今期の課題、支払い申請書の書式について報告があった。

2.11. 庶務幹事

山口庶務幹事より、Slack の導入、メール審議を行った学会賞等受賞者選考委員会及び鳥居・井上基金選考委員会の改選、山田科学財団への学会からの推薦を募集していることについて報告があった。また、第 61 回アイソトープ・放射線研究発表会および日本化学連合「2023 年度第 1 回シンポジウム—ヒューメインな化学 ～感覚の世界に化学はどう挑むか～—」を共催することの報告があった。

以上の議事を終え、18 時 30 分に閉会した。